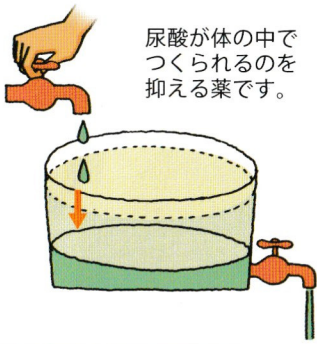



3 高尿酸血症と痛風にはどんな治療をする？

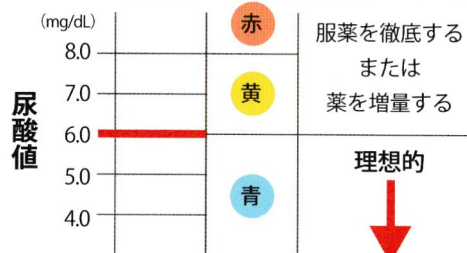
高尿酸血症の治療

痛風発作が治まったら、まるで病気が治ったかのように見えますが、根本にある高尿酸血症は何も解決していません。ここからが本当の治療の始まりです。高尿酸血症の治療で、体内にたまった尿酸を溶かしだして、痛風発作や高尿酸血症に関連するさまざまな合併症を予防しましょう。

尿酸値を下げる薬（尿酸降下薬）は、次のタイプがあります。

分類	尿酸生成抑制薬	尿酸排泄促進薬
特徴	 <p>尿酸が体の中でつくられるのを抑える薬です。</p>	 <p>尿酸を体の外へ出しやすくする薬です。</p>

尿酸降下薬を服用しているときの尿酸値の目安



Check!

痛風発作を起こしたことがある、または高血圧の方は、**尿酸値 6.0mg/dL以下**を目指しましょう。



高尿酸血症の治療はあせらず、根気よく

尿酸値はゆっくり下げましょう。

血液中の尿酸の濃度が急激に下がると、関節などに沈着していた尿酸の結晶が一気に溶け始めることがきっかけで、痛風発作が起こることがあります。尿酸値を下げる薬を服用する際は、発作を防ぐために、医師の指示に従い段階的にゆっくり尿酸値を下げていきましょう。



尿酸値はしっかり下げましょう。

尿酸値を**目標値まで下げたら**、その値を**しっかり維持**しましょう。尿酸値を6.0mg/dL以下に保てば、痛風発作は起こらなくなります。そして、そのような尿酸値を下げる生活習慣を続けていくことが、心筋梗塞や脳卒中のような様々な合併症を予防することにもなるのです。

医師の指示に従い、定期的を受診しましょう。

薬を服用する際は医師の指示に従い、自己判断で薬を減らしたり止めたりしないようにしましょう。高尿酸血症や痛風の治療は継続することが大切です。定期的に診察を受けながら、根気よく治療を続けましょう。

